

辺野古代執行 強行手段に踏み切るな

「普天間の決断」を国が強い
たに争ひ。頭「なしの手続
きは離脱を深めるだけ、強
引な手法に強く反対する。

沖縄県の米軍普天間飛行場
の名護市辺野古への移設をめ
ぐり、玉城デニー知事は軟弱
地盤の改良工事の設計変更申
請について「承認は困難」と
国に回答した。国土交通相は
きのう、国が県に代わって承
認する「代執行」のための訴
訟を起こした。

9月4日の最高裁判決で県
の訴えが退けられて以降、國
側は矢継ぎ早に県に承認を迫
り、追い詰めてくる。

自治体の長が最高裁判決に
ただちに従わないことは批
判もある。一方、昨年の知
事選で玉城知事は移設反対を
公約と掲げて再選された。19
年の県民投票では、7割超が
埋め立て反対の票を投じてい
る。自らにかけられた期待と
行政トップとしての義務の間

で下した、「まことにの判断を
重く受けとめたい。」

今後は工事を遅らせたとし
て国からの損害賠償請求もあ
りえる。覚悟の上ならどうい
う事情と計算があるか、知事
は国に対してはもうろん、議
会や会見などあらゆる機会を
通じ発信せねばならない。

残念なのは国の態度だ。最
高裁判決の後、朝日新聞の社
説は、裁判が長期化した理由
を振り返り、地元と誠実に向
き合つよう政府に求めた。だ
が、国交省は一方的に勧告と
指示を出し、対話を求める県
の要請を踏みどりつづける。

岸田首相は「国交相が適切
に対応する」などと述べ、接
触に乗り出す姿勢は見えない。
斎藤鉄夫国交相も県に出
した是正指示の正当性を強調
し、「一連の手続きは適法性
が確定してくる」と繰り返
す。構が深まっている今いま
じての現実と目を向か、我
がこととつと尋ねよう。

最高裁は是正指示を適法と
しただけで、工事の問題点に
は踏み込まなかつた。県の不
承認に対し、国の機関が「私
人の立場で別の大臣に審査
を求めた問題にも言及せず、
自治体を従わせる強引な手法
を是認したとの批判もある。

軟弱地盤の調査が不十分。

工期が長期にわたり普天間の
危険性の早期除去につながら
ない。しきした県側が訴えて
きた疑問に、国は今後も「た
えていく責任があるう。その
ために「辺野古が唯一の解
決策」というかたくなな姿勢
を国があらわめる」とだ。

忘れてはならないのは、この
問題は沖縄だけのものでは
ないところなのだ。自治を軽
視するような国策のやり押し
はあしき前例となる。何より
も国内の米軍専用施設の7割
を沖縄に集中させ、負担を強
いてじる現実と目を向か、我
がこととつと尋ねよう。